

岩国からの報告

あたごやま平和研究所 田村 順玄（たむらじゅんげん）

1. コロナで明けた岩国基地

衰えることを知らない新型コロナの汚染が、岩国基地を中心に広がった。新年になって、毎日公表される感染者の動静が、驚くような数字で積みあがっていった。山口県知事は岩国基地のコロナ感染を検疫などを手を抜いての原因は基地由来だと明言した。

2. 外來機の増大、空軍の F35A も大挙飛来、「バリエーションシールド 2022」への参加、F22 ラプターも爆音増大。広島市内中心部でも苦情が広がった。米軍の訓練は1か月続いた。

3. 米軍の大型艦船の入港が常態化してきた。岩国基地沖合移設事業で悪乗りして近接された基地沖のマイナス 13m 岸壁が、完全に岩国基地で一体化して使われだした。この間、米軍の新たな基地利用の形態が定まって来た。その選手は他用で大型の船舶が目立ってきた。洋上基地艦「ミゲルキース」は短期間の何回も入港し、「強襲揚陸艦アメリカ」や「トリポリ」「グアム」も度々入港した。海上自衛隊も「いずも」が岩国基地の F35 を使用し、空母化の実践訓練をした。

基地の専用岸壁へ訓練中に大破した航空機を本国へ送り返すため、度々大型艦船を入港させたし、自衛隊のオスプレイや E2Cなどを船便で送り込んだし、岩国基地が自由に使用された。

5. こうした状況に併せ米軍が岩国基地の港湾施設の拡充も始めた。岩国基地の港に燃料補給の備蓄施設の建設を新たにスタートさせた。これまで 1 万キロリットル 3 基のタンクを 5 万キロリットル 3 基に新たに建設するという方針だ。

6. 無人機の運用も行われた。

7. このような岩国基地の動きを象徴するような訓練、「レファンと・ウオーク」が行われた。数十機の米軍機は滑走路を列を作って行進、異様な姿で力を誇示した。折しも空軍も飛来した最中で、米軍の総ぞろいとなった。

7. 防衛省は岩国基地に次々と新たな軍施設を建設した。岩国海洋環境試験評価サイト[※]に建設で有る。この施設で高校生などを参加させ軍事利用を宣撫した。

8. 駅近くに英語教育の拠点施設を作ったり、岩国錦帯橋空港の開港 10 年でツアーを実施するなど、基地との共存を進めた。愛宕山に作った住宅施設は、消防車両の通過も試みた。

9. 再編交付金の交付起源が終わり、今年からは更に新交付金制度も作られ市民を安堵させた。防衛大臣が岸信夫の時の在職中で、お手盛りの政治利用だった。

こうした中、岩国市民は第 2 次岩国爆音訴訟を年内にスタートさせる。

2021～2022 年 岩国基地関連の動き

(中国新聞オンライン記事見出し・「おはよう岩国山」より)

2010年8月に始まった、1の日(毎月1、11、21日)愛宕山見守りの集いは、2022年8月に13年目に入り、400回を越えた。岩国住民、周辺市町の住民を中心に、反戦・反基地で闘う人、団体が集まり、情報交換と活動の共有を行っている。築城200日行動、辺野古の座り込みとも連帯した闘いが取り組まれている。

2022年1月からの新型コロナ感染拡大第6波では、米軍岩国基地がまたもや感染拡大の震源地となった。中国、朝鮮民主主義人民共和国を念頭に備えた訓練の強化が見られた。相次ぐ外來機の飛来や艦船の入港に加え、燃料タンクや埠頭の整備計画が明らかとなり、米軍の訓練拠点、兵站拠点として岩国基地の機能強化が一層推し進められようとしている。

そうした中、岩国では住民が基地と行政を監視し、申し入れ、選挙、第二次提言訴訟の準備など全方向の闘いが取り組まれている。

中国新聞オンライン記事見出し・「おはよう岩国山」記事

2021年

9月 防衛技術研究所が岩国基地に配備する水中無人機の実証実験が9月から運用開始

10月15日 ミゲルキースが岩国基地初寄港 米海軍の大型艦船

10月25～29日 月米共同演習「アクティブシールド2021」自衛隊700人、車両250台で「米軍岩国基地を脅かす」ヘリが終日市街地を低空飛行、74件の苦情が殺到(おはよう岩国山 No.545 21.11.7)

10月26日 神戸管制へ連絡3分後 F35B 萩・石見空港緊急着陸 現場には事後 島根県議会「検証を」

11月12日 情報提供徹底や交付金継続要望 山口知事ら、防衛相に

11月12日 F35、島と衝突 岩国基地所属 最も重大な事故

11月16日 F35B 島と衝突 非公表に抗議文 岩国市へ市民団体

11月16日 再編交付金 新制度説明へ 岸防衛相、来月中の意向

11月17日 強襲揚陸艦入港へ 岩国基地 運用能力の確認目的

11月19日 米の強襲揚陸艦アメリカが岩国寄港

11月22日 岩国基地「十分な機能」米強襲揚陸艦長が言及 報道陣に内部公開(紙面11月20日)

11月24日 自衛隊海外派遣 共同訓練中止を 海自呉に市民団体(紙面11月23日)

11月24日 米提督艦「安全脅かす」岩国4団体 市に寄港反対申し入れ(紙面11月23日)

12月6日 F35Aが岩国基地に初飛来

12月8日 F35A岩国飛来 抗議を申し入れ 市に2市民団体

12月17日 米陸軍艦の寄港 岩国市は抗議を 市民団体申し入れ

12月17日 岩国飛来のF35A 帰還 米軍の全12機 基地機能強化に懸念

12月20日 飛来機「抑止力に必要」岸防衛相 米軍岩国基地訓練で見解

12月23日 反戦掲げ集った若者の思い今に ベトナム戦争時 岩国で営業の喫茶店「ほびっと」有志28人、本を出版

12月27日 再編交付金 15年延長へ 岩国など2市2町のみ 政府方針 22年度 新制度に移行

2022年

1月 コロナが止めた基地の連絡監視…米兵がマスクなしで電車に乗っているのを見てさんが電車で岩国に来ることができずしばらく休止。(おはよう岩国山 No.650 22.1.6)

1月6日 「岩国基地から」拡大一気 集団感染1週間 米軍の未検査続く

1月7日 在日米軍は厳格措置を 首相 2プラス2で要請指示

1月7日 岩国基地周辺で航空機騒音8回 三が日

1月11日 地位協定 水際対策に「穴」 オミクロン株 米軍基地「震源地」濃厚(紙面1月8日)

1月12日 岩国基地で酒提供継続 山口県の要請 効力及ぼす

1月13日 「米軍から返答なし」 外務省 岩国基地内の酒提供

1月14日 米軍要因 可能性に言及 林氏 基地周辺の感染拡大巡り

1月14日 ミゲルキースが岩国基地に寄港 関係者、基地外に出ず

1月17日 基地の感染対策 暮る不安 米軍関係者の低い意識/乏しい情報 岩国の団体 相次ぎ強化要請(紙面1月15日)

1月17日 米軍関係者らの移動制限求めて 県労連など山口県に要請(紙面1月15日)

1月17日 地位協定対応 与野党に差 米との改定協議 首相は否定 感染要因 国会論戦へ(紙面1月16日)

1月18日 ミゲルキース寄港に抗議を 岩国の団体が市に要請

1月19日 米軍「酒提供は可能」 岩国基地巡り主張 地位協定 盾か

1月24日 米軍機トラブル 岩国空港便乱れ(紙面1月22日)

1月27日 米軍機騒音問題 4市町意見交換 実態把握 国に要求へ

1月31日 陸自オスプレイ 米月岩国基地へ 2機 整備や試験飛行(紙面1月29日)

2月 おはよう岩国山、月2回発行から月1回発行に変更

2月1日 「米軍は防止措置従う」 米軍の外出制限終了 松野有房長官

2月2日 岩国基地F35B 曲芸飛行相次ぐ 騒音に苦情も

2月4日 米軍機トラブルで欠航 岩国空港 輸送機 広島に着陸も

2月7日 日米「不一致」続々露呈 在日米軍 オミクロン株対応 地位協定見直し求める声(紙面2月5日)

2月16日 「フレンドシップデー」3年連続で中止

2月17日 米軍「日米認識にずれ」 検査義務解除 非なしの姿勢崩さず

2月18日 米軍感染対応 連携強化 地位協定見直し触れず

2月21日 戦艦の急接近 岩国市は抗議を 市民団体が要望(2月19日)

2月22日 外国人との交流育む場へ 新たな基地交付金で運営 岩国の英語センター米月26日オープン

2月24日 山口県4.4%増7862億円 22年度予算案 基地交付金 69億円計上 工場などの新増設に補助(紙面2月23日)

2月26日 ドック型揚陸艦 岩国基地初寄港 米「物資補給のため」(紙面2月26日)

3月1日 岩国基地 動き活発に ウクライナ侵攻 米中も争い先鋭化 台湾念頭に訓練 騒音増

3月4日 揚陸艦基地寄港 岩国市は抗議を 市民団体が要請

3月7日 オスプレイ1機 岩国基地を離陸 千葉・木更津駐屯地へ
(紙面3月6日)

3月10日 事故機 岩国基地に投入 着陸失敗のF35C 南シナ
海から回収

3月14日 F35C岩国基地へ「米軍輸送機」 在日米海軍司令部
回答 (紙面3月12)

3月16日 米軍騒音 住宅支援 地域拡大へ 山口県

3月18日 米軍岩国基地に飛来の部隊が F418 米で3日墜落
最も重大な事故と判断

3月23日 米で攻撃機墜落 安全確保求めて 岩国市に団体が要望

3月24日 海自岩国へヘリ トア落ト 基地発表 高さ6.5キロ 徳
島県神に

3月31日 米岩国基地の寄港急増 05～20年度5隻 →21年
度17隻 進む拠点化

4月4日 岩国市に13億4600万円 在日米軍新交付金 防衛
省が内示 (紙面4月2日)

4月7日 岩国基地 騒音3万回超 露の侵攻で米軍機訓練活発化
か 21年度 神合移設後で最多

4月16日 「遠征海上基地」ミゲルキースが岩国3度日寄港 米軍
機「演習のため」

4月24日 岩国騒音 2次提訴へ 騒音機移転後に「悪化」原告
団の作成準備

4月28日 防音助成 区域見直し 米軍岩国基地の航空機騒音 中
四国防衛局 岩国や大竹で調査へ

5月6日 空母艦載機 FCLPへ 硫黄島、岩国など4基地 予備
施設 (紙面5月5日)

5月6日 FCLPの期前 25日までに修正 米軍岩国基地の艦
載機

5月10日 空中給油機 2機増派へ 米軍岩国基地 拠点機能強化
に懸念

5月10日 米軍所属機移転 岩国市に抗議を 市民団体が要望

5月13日 米無人偵察機 配備へ 岩国基地に1機 海上監視を強
化

5月23日 米軍機騒音 広島で急増 21年度県集計 艦載機移転
前の2.5倍 (紙面5月21日)

5月24日 岩国基地「街を侵食」元常連集い 反戦の思い新た 半世
紀前に4年間営業の喫茶店「ほびっと」

5月25日 騒音指数 20地点で最大 岩国基地周辺 艦載機移転
以降 21年度 外来機飛来が影響か

5月25日 無人偵察機の岩国配備反対 市民団体 国に要請書

5月26日 「定期寄港 否定できず」 岩国市長 ミゲルキースが
4度目

5月30日 岩国基地 騒音被害や夜間・早朝飛行 2次提訴へ思い
共有 周辺住民ら、原告となる説明会 (紙面5月29日)

6月1日 海兵隊員の逮捕 再発防止求める 岩国基地に市や県 (福
岡市内でクラブ店長の妻を殴った事件)

6月2日 F35A12機 岩国飛来 米軍基地 共同訓練参加目
的か

6月5日 米軍のF35A 6機追加飛来 岩国基地 計18機に

6月8日 基地強化反対 坂本千尋さん死去 「運動の星」惜しむ声
(6月5日死去)

6月10日 広島市上空に米軍機か 8日夜 ごう音に苦情相次ぐ

6月10日 岩国からも不安の声 米のオスプレイ墜落 「基地飛来

中止を」

6月13日 騒音 F35Aの共同訓練 米軍岩国基地 岩国市に苦
情112件 (紙面6月11日)

6月17日 F22複数機 再び岩国基地に (紙面6月16日)

6月21日 岩国基地に外来機30機 米空軍訓練 市民は機能強化
懸念

6月21日 岩国基地の苦情 山口県に7105件 21年度 本年
度から内訳も公表へ

6月23日 日中に爆音 米軍機か 広島上空 広島県や市に苦情

6月24日 海自兵艦 進む「空母化」 かが改修 「反撃能力」担
う可能性

6月29日 米外来機30機の撤去要求 岩国などの団体 国に抗議
申し入れ

6月29日 海自岩国所属機 燃料漏れ

7月 エンジンが炎の行進 七月七日 岩国基地で実施 無人機「ト
ウイトン」も十二日深夜到着 (「おはよう愛宕山No.656 7月15日」)

7月2日 騒音 市民生活に影響 岩国基地 米空軍30機飛来1ヵ
月 早朝・夜間… 広島市上空でも

7月3日 艦載機移転 また寄港 米軍岩国基地 5月以来2度目

7月11日 F35A4機 土曜に飛行 岩国基地 騒音事項違反か
(紙面7月10日)

7月14日 米無人機 岩国に初配備 数ヵ月間 周辺海域を警戒

7月21日 PAC3 空自が呉で訓練 広島県内初めて

7月23日 外来機訓練の終了発表 米軍岩国基地 1ヵ月 騒音苦
情4倍

8月6日 米軍機の動きに反対意思表明を 市民団体、岩国市に訴え

8月11日 オスプレイ2機が月内にも岩国へ 米軍基地送達せず

8月18日 岩国基地所属 艦載機が帰還 通常より2、3ヵ月早く

8月19日 艦載機移転が全機帰還 岩国基地 台湾周辺警戒終え

8月26日 米軍住宅で緊急時車内通話の訓練 岩国地区消防

8月30日 岩国市は米陸軍基地利用に反対を 市民団体が要望

9月3日 8月の騒音苦情が最多 米軍岩国基地 艦載機訓練影響
か

9月15日 岩国基地の機能強化か 米軍計画 燃料タンク・塹壕整
備

10月6日 米無人偵察機 岩国を離れる

10月19日 早期警戒機2機 岩国基地に到着 3度目の降機せず

10月23日 岩国市議会 佐野さん、松田さんたち当選

11月9日 米軍機の騒音増加 4～9月 県西部沿岸で3～1割
岩国基地拠点に訓練

(※本資料は中国新聞の見出しを中心に構成しています。日付は基
本、記事掲載の日付です。記事本文は中国新聞サイト・ヒロシマ平
和メディアセンターにて閲覧可能です。IP掲載日と紙面掲載日とが
異なる記事については、検索時の便を考慮し、IP掲載日を採用し、
紙面掲載日は括弧内に記しています。「おはよう愛宕山」の記事や編
者が加えた記述については斜体にて記します。)